

小・中学生の入院医療費の 助成をしています

■対象

健康保険に加入している小・中学生で、湖南省に住民登録があり、居住している人を対象に、入院医療費（保険診療内の自己負担分）の助成をしています。

※次のような人は対象になりません。

- ・健康保険に加入していない人
- ・生活保護を受けている人
- ・ひとり親家庭の子および重度身体障害児として自己負担金のない福祉医療費の助成を受けている人

■助成内容

入院時の健康保険対象医療費の自己負担分（3割）を助成します。

※健康保険の対象とならない入院時の食事負担代、差額ベッド代、薬の容器代、診断書代などは、助成対象外です。

■助成の方法

医療機関で支払い後、次のものを持って☎で申請してください。

- ・領収書（氏名、診療点数、領収額、領収年月日の記載があるもの）
- ・健康保険からの医療費支払通知 ・健康保険証
- ・印鑑 ・金融機関口座番号がわかるもの

☎保険年金課（東庁舎） ☎71・2324 ☎72・2460

4月1日採用

嘱託・臨時職員を 募集します

■募集職種 一般事務、保育士など

※他の職種も募集していますので、市ホームページかハローワークで確認してください。

■応募資格 昭和24年4月2日以降生まれの人

※職種により必要資格が異なります。

■申込方法 2月13日（水）までに申込書を直接か郵送（必着）で☎へ

※申込書は、☎、市民課分室（西庁舎）に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。



☎人事課（東庁舎）

（〒520-3288住所記載不要）

☎71・2312 ☎72・1146

2月に入り、平成もあと3か月を残すばかりとなりました。この30年を振り返り、感慨を深くしているかたや、5月からの新しい御代に胸を膨らませているかたもおられると思います。元号が改まることで、ひとつの時代が区分され、その間の経験が同時代史として社会で共有化されるといふ特徴をわが国は持っているようです。

昭和史は、激動ともいえる時代でしたので特に印象深いところですが、平成史は、天皇陛下のお言葉にもあったように、戦争のない時代として終ろうとしています。

その一方で、平成時代は、経済的には絶頂であったバブルの崩壊からはじまり、住専問題、アジア通貨危機からの金融危機、ITバブルとその崩壊、聖域なき構造改革からの実感なき景気回復、リーマン・ショック、東日本大震災を経て現在進行形のアベ



ノミクスに至っています。この間、企業の護送船団方式や終身雇用制度が崩れ、経済が自由化されるとともに貧困率も高まり、格差が大きく注目されるようになりました。

そうしたなか、行政に求められる業務も、画一的に公平な対応をするだけでなく、困っている企業や個人に対して、個別に積極的な支援を行うという姿が変わってきました。

行政サービスは個別多様化し、高齢化に伴う社会保障経費も増えていく一方で、それを支える財源も変化してきました。税収としては、大きく市税と固定資産税に分けられます。

合併前も含めてこの30年間の湖南省では、個人市民税は最高時に約31億円ありましたが、平成29年度決算では約29億円となっています。

同様に法人市民税は最高時に約17億円であったのに対して約8億円、固定資産税は約47億円が約42億円となっており、毎年厳しい財政運営を求められてきました。

これまでは何とかやりくりしてきましたが、新しい御代には、人口減少時代を持続的に支えるための財源のあり方も真剣に考えていく必要があるようです。